



75
Azadi Ka
Amrit Mahotsav



投資先としての
ウツタル・プラデーシュ州
——対UP州投資——





ウツタル・プラデーシュ州政府によるプレゼン



“ インドで4番目に大きい州であるウッタル・プラデーシュ州は、今、変革の時を迎えています。ナレンドラ・モディ首相が掲げたAtmanirbhar Bharat（自立したインド）というビジョンが、この変容の柱となっています。大規模な統治改革、優れた法秩序、進歩的な政策、物流施設、空港、高速道路、メトロ、産業回廊など、最先端のグリーンフィールド・インフラの開発に支えられ、州内には活気ある投資環境が構築されています。2億4千万人の人口を抱えるウッタルプラデーシュ州は、インド最大の消費地であり、労働市場でもあります

ウッタルプラデーシュ州は、インドを5兆ドル（USD）の経済大国にするという首相のビジョンに沿い、1兆ドル（USD）経済への飛躍を目指し、大きく貢献することを目指しています。この目的のため、同州は2023年2月10日から12日までLucknow市でグローバル投資家サミット（UPGIS）を開催し、同州の無限のビジネスチャンスを紹介するとともに、世界のビジネス界が参入できるよう統合プラットフォームを提供する予定です。3日間にわたるこのサミットには、世界中から政策立案者、企業経営者、ビジネス代表団、学界、シンクタンク、政治・政府指導者が集まり、ビジネス機会を共同で模索し、パートナーシップを構築する予定です。

産業発展のための総合的なエコシステムを構築するためにとられたさまざまな改革的措置と、グローバルな投資を誘致するための25以上の政策の策定を通じて、州政府はすべての投資家パートナーを大歓迎することを保証します。私は、世界のビジネス・コミュニティが、ニューインディアの原動力となるために、UP州に投資することを心から歓迎します。”

ヨギ・アディティヤナート

州首相閣下

ウッタル・プラデーシュ州政府

投資先としての ウッタル・プラデーシュ州

長期的で持続可能な成長を定義づける

インド国内で最大規模の消費者層

- 州の人口2億4,000万人、近隣の州にさらに2億人
- 人口100万人以上の7都市と、人口50万人以上の7都市を抱える

犯罪に対するゼロ・トレランス政策

- 透明で積極的な警察活動、能力開発、組織犯罪の撲滅に特に注力

ビジネスが最もやりやすい州の一つ

- 2020年に第1位にランクインし、「業務改革行動計画ランキング2019」で第2位
- 3500件のコンプライアンスを撤廃
- 29部門355件のサービスを最大規模のデジタルシングル・ウインドウで実行中

ワールドクラス水準のインフラに注力

- インドの高速道路の約38%が同州にある
- 5つの国際空港を持つ唯一の州（3つの既存空港と2つの建設中空港）

物流・倉庫の主要なハブ

- トップランキング州：ビジネスのやりやすさ達成度カテゴリー（スコア90%以上）でトップ、Logistics Ease（ロジスティックの容易さ）で7ランク上昇して第6位を達成。2021年の各州ランキング
- 倉庫・ロジスティクス部門を業界として認知

トップクラスの部品生産拠点

- インドで最も多くの零細・中小企業（14.2%）が存在する
- インドの輸出上位5州の一つ
- インドの製造業上位5州の一つ

政策に基づくガバナンス

- 25以上の分野別政策
- 国内最高水準を誇る魅力的な優遇措置

土地利用可能性

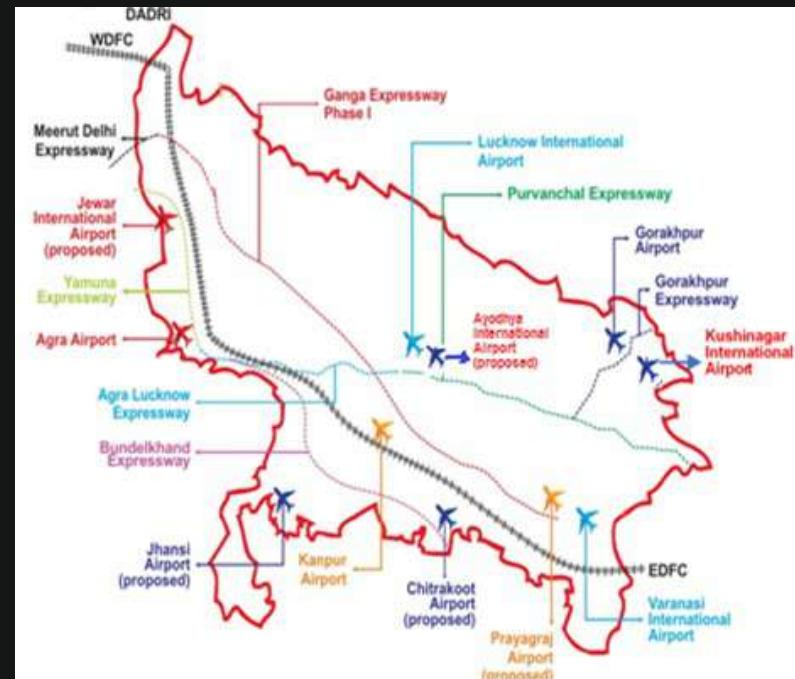
- 主要経済地区、高速道路、産業回廊沿いに巨大な土地バンクがある
- メガプロジェクトの土地許認可を15日で完了
- インド政府ポータルに統合された地理情報システム対応土地バンク

連邦政府との効果的な連携

- インド政府の制度・政策の効果的な活用
- インド政府の計画やインフラプロジェクトの迅速な実施

投資先としてのUP州 ロバストなインフラ

- 東部・西部貨物専用鉄道の主要な集散地がU.P.州内のダドリ（グレートノイダ）で交差
- ウットラルプラデーシュ州はインド最大の鉄道網を持ち、その全長は10000マイル以上にも及ぶ
- ウットラルプラデーシュ州は、シームレスな接続を可能にする最先端の高速道路を誇っています
 - 13の高速道路（既存・新規）
- 5つの国際空港を持つ唯一の州
 - 既存3カ所と今後建設予定のJewar（グレートノイダ）とアヨディアに2カ所
- 国内接続のための地域接続スキーム（RCS）により7つの空港が運用開始、さらに8つの空港を建設予定
- インド初の内陸水路がウットラルプラデーシュ州で開通（ハルディア-バラナシー間 1,100Km）
- 100エーカーの広さのインド初の「貨物村」がバラナシーで近々完成
- UP州全域で物流拠点が登場：MMLH Dadri、MMTH Boraki、MMT Varanasiなど



投資先としてのウツタルプラデーシュ州 ビジネスのやり易さ

規制遵守の 負担軽減 (RCB)

- RCB 1とRCB 2.0イニシアティブの一環として、**60**以上の部門の合計**3773**件のコンプライアンスが廃棄されました。
- UP州は、自発的に特定されたコンプライアンスを**100%**廃止しました
- ウツタル・プラデーシュ州では、**27**の部門の合計**907**の法律/規制/規則が廃止されました
- 特に労働局、法定計量部門、運輸部門に重複選択権を提供し、合計**568**件のコンプライアンスが非犯罪化されました

ライセンス/ 更新の自己 認証とライセ ンスの自動更新 ・統合の廃止

- **4**つの主要ライセンス（貿易ライセンス、ホテル、旅行代理店、専門税関連ライセンス）が廃止されました
- **7**つの部門の**10**以上の主要なライセンス例えば、医薬品小売・卸売・製造、IT部門によるモバイルタワー設置の更新、商業税、映画界ポルタル、観光、法定計量などの更新が廃止されました。
- **27**種類以上の更新がすでに自動更新システムへ移行
- **5**つ以上の承認について自己証明書が適用
- 一部のライセンスは、**UP**州で統合されました

労働基準 法の改正

UP州は、**BRAP 2022**の期限よりかなり前に、**2022**年に労働安全衛生コード(**OSH**)を含む**4**つの労働法すべてを通知しました。

投資先としてのウツタル・プラデーシュ 実現可能な政策枠組みの整備

新産業投資・雇用促進政策2022年

業種を問わず、すべての産業に魅力的なインセンティブを提供するアンブレラ（包括的）政策

投資誘致のための20以上の新規/修正されたセクター固有の政策

食品加工	ベンチャー企業
防衛・航空宇宙製造	EV製造政策
エレクトロニクス製造	太陽電池政策
医薬	バイオエネルギー政策
手織機・織物	民間工業団地スキーム
酪農	中小企業政策
民間航空	観光政策
情報技術	倉庫・物流
データセンター	映画政策
保守・修理・オーバーホール	養鶏場の開発

魅力的なインセンティブの提供

- 土地リベート
- 資本金補助金
- 州商品サービス税の還付
- 資本利子補助金
- インフラ利子補助金
- 印紙税免除
- 電気料金の免除
- 従業員積立基金の払い戻し
- 交通費補助金
- 研究開発インセンティブ
- 技能開発助成金

投資先としてのウツタル・プラデーシュ州 新産業政策 概要



産業政策
の抜本的見直し

新産業政策2022年に提案された、競争的インセンティブ
の枠組みや支援インフラの構造的変化

新政策 の主要なハイ ライト



正味SGST（州物品・サービス税）償還に加え、**新たなモデル**（例えば、**資本補助金**や**PLI（生産連動型インセンティブ）**、**トップアップサポート**など）を導入し、財政的インセンティブプログラムの対象となるプロジェクトを拡大



インセンティブ予算を最適に使用し、政策目標を達成するために、**ユニットパフォーマンスと各種ブースター**（生態系ブースター、雇用ブースター、輸出ブースター）に**連動した資本助成オプション**



投資期間の延長（最大9年）、SGSTの償還期間の延長、対象となる固定資産の範囲の拡大、旧政策で申請中の案件に対する適用



追加の部門（循環型経済、インフラプロジェクト、グリーン水素など）を導入

実施要領、標準作業手順書を作成し、以下を徹底している



解釈上の問題が発生する可能性は極めて低い



過去のスキームで投資家が直面した課題への対応



ダイナミックに進化する事業構造への提案に対応

強みのある分野：機会



防衛・航空宇宙



民間航空・保守
・修理・点検



物流



エレクトロニクス



情報技術



ベンチャー企業



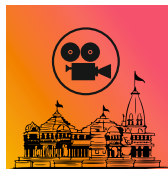
データセンター



手織機・織物



農業関連



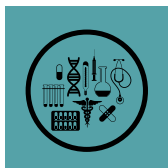
観光・映画



再生エネルギー



電気自動車



医薬・ヘルスケア



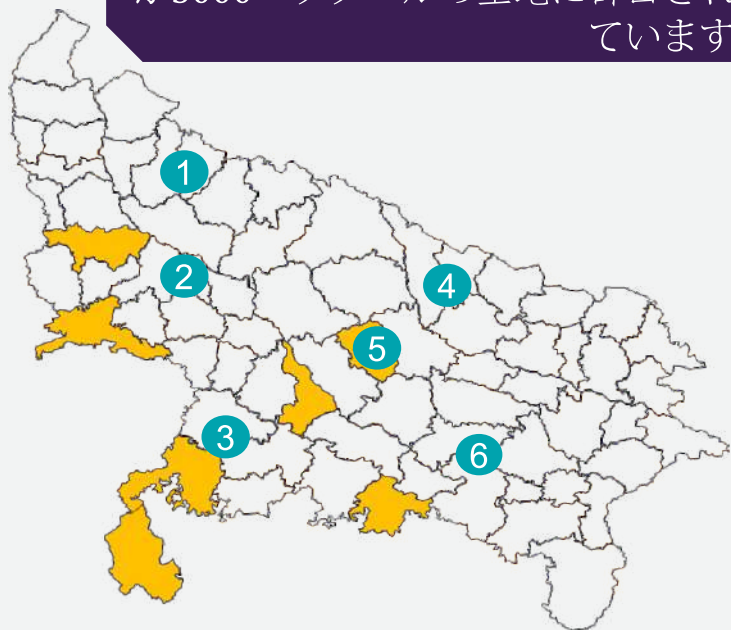
教育・能力開発



産業インフラプ
ロジェクト

投資先としてのウッタール・プラデーシュ州 防衛・航空宇宙部門

ブンデルカンド地方で新規の
国防産業回廊 (UPDIC)
が5000ヘクタールの土地に計画され
ています



6つのノードつまり、Agra, Aligarh, Kanpur, Lucknow, Jhansi とChitrakootの開発
ラクナウのBrahmos (200エーカー)、ジャンシーのBharat Dynamos (183エーカー) など、
10億5000万ドル相当の62件のMoUに調印

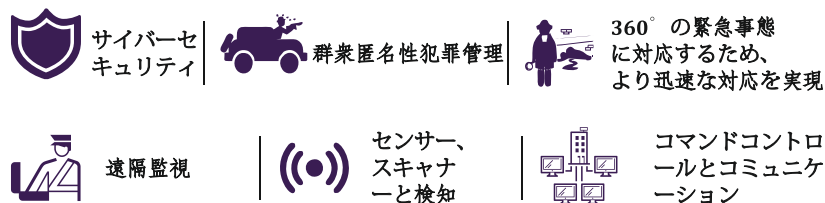
防衛・航空宇宙政策2019年
(2022年に改正)
に基づく魅力的な優遇措置

投資機会



- Aligarh, Kanpur, JhansiとChitrakutで 1546ヘクタールの土地を取得
- 2021年9月、ナレンドラ・モディ首相がUPDIC (国防産業回廊) のアリガー・ノードを開設

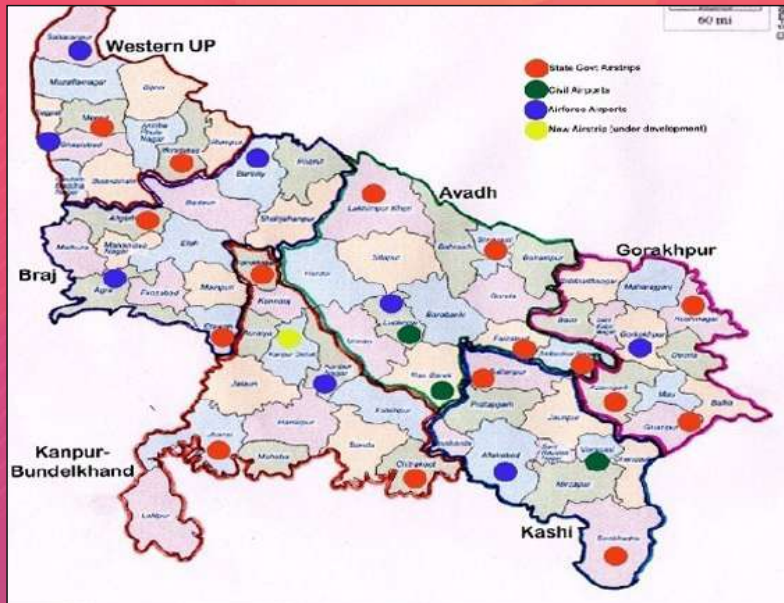
国土安全保障



研究開発拠点

IIT Kanpur (技術パートナー)、防衛研究開発機構ASERDC-Hindustan Aeronautics (株) (ラクナウ、アメティ)

投資先としてのウッタール・プラデーシュ州 航空・MRO分野

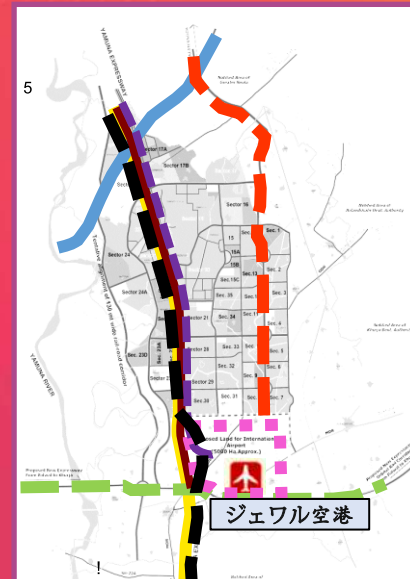


政策的支援

- 地域接続性スキーム (RCS) に基づく返済猶予
- MRO (メンテナンス、リペア、オーバーホール) ユニットに対するインセンティブ
- 10の空港/滑走路が稼動中、8都市で空港建設が予定されています
- 5つの国際空港 (3つの既存空港、2つの新設空港) を持つ唯一の州

ジェワール (グレーター・ノイダ) に国際空港を建設予定

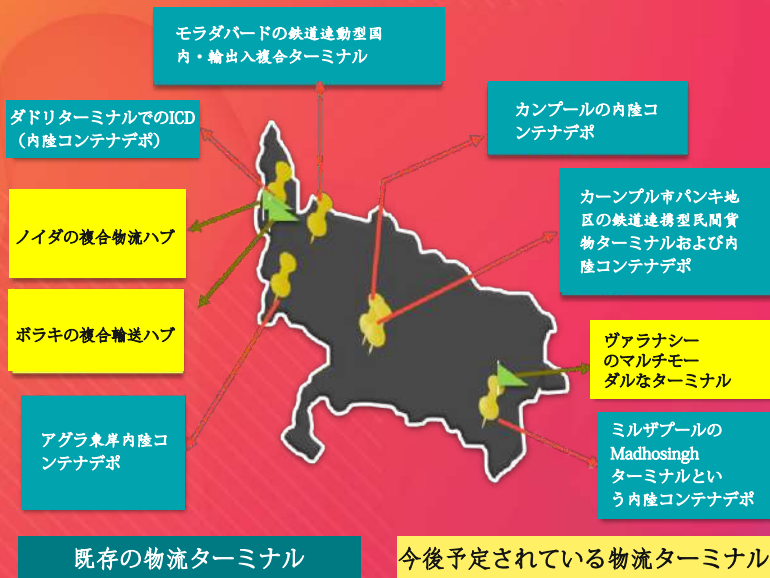
- ノイダ国際空港は、イエイダ通知地域のジェワールに1334ヘクタールで計画されています
- ノイダ国際空港 (ジェワール) のすべての許認可とNOC(異議なし証明書)を取得しました
- デリーのIGI国際空港からわずか72km、ノイダ、グレーターノイダ、アグラ周辺の主要観光地との接続も良好
- 空港沿いにMROと貨物ハブが計画されています



投資先としてのウツタル・プラデーシュ州 物流分野



国道1号線
(プラヤグラージとハルディア港を結ぶ)



内陸水路

- NW1(国営水路1)のハルディア～バラナシ区間 (約1,100km) 既に運用開始
- バラナシに100エーカーの貨物村を建設予定

バラナシのマルチモーダル (複合輸送) ターミナル

- MMT Varanasi第1段階が稼動中、年間54万トンの荷役能力を保有
- NW (国営水路) 1沿いには、ガジプール/ラーズガット、ラムナガル (バラナシ)、プラヤグラージに様々な浮体式ターミナルが稼働している

ダドリ (グレーター・ノイダ) の複合物流ハブ - 304ヘクタール

- ダドリ・ノイダ・ガージアバード投資地域 (DNGIR) で開発中

ボラキ(グレーター・ノイダ)の複合交通ハブ - ~753エーカー

- 州間バスターミナル (ISBT) と大量高速輸送システム (MRTS) により補完される、最先端の鉄道ターミナスが計画されています

倉庫・物流政策に基づく魅力的な優遇措置: 倉庫、物流施設、ドライポート、貨物ターミナル、接岸ターミナルなどの開発に対して、産業資格、高い敷地面積とFAR (容積率)、資本補助金、印紙税・電気代・開発費の免除などの優遇措置があります

投資先としてのウツタル・プラデーデシュ州 ITセクター

➤ インド最大の労働市場であるウツタル・プラデーシュ州（UP州）は、北部のITハブとして知られています

➤ インドのソフトウェア輸出で第6位

➤ 現在、同州では、Noida, Meerut, Lucknow, KanpurとPrayagraj市にITパークが稼働しています。Agra市にもITパークがまもなく稼働する予定です。また、Varanasi, BareillyとGorakhpurの3都市でもITパークが開発中です

➤ **ITシティ、Lucknow市：** HCLグループが7,800万米ドルを投じて開発した経済特区で、5,900人の直接雇用を見込んでいます。Walk to Work（とほで通勤）コンセプトに基づき、総面積の60%をIT及びITeS活動、残りを商業、住宅、健康、教育などに使用

➤ UP州IT/ITeS政策2017-22年の下、同州は約7億6500万ドルの投資提案を受け、53,000人の雇用を確保する予定です

IT政策：主なハイライト

- 10年間、電気料金の100%払い戻し
- 7年間5%の金利補助
- 印紙税を100%免除
- 土地価格の25%を上限とした償還
- EPF(従業員積立基金)への助成金の100%払い戻し
- 容積率3.0+1.0（購入可能）、最低25エーカーの土地に30%の容積率で寮などの福祉施設を建設可能
- 特許出願費用の100%償還
- 認定取得のための奨励金：3つの認証の払い戻し（上限30,000ドル）

主要なプレーヤー



MAQ Software



投資先としてのウツタル・プラデーシュ州 エレクトロニクス部門

65%

インドで製造
される携帯電話に
占める
UP州の比率

37%

UP州で操業中全
国の携帯電話
メーカー

55%

UP州で操業中全
国の部品メーカー

- ✓ UP州を世界の半導体工場にとって魅力的な投資先にするというビジョン。新電子機器製造政策で提案されたインド政府による優遇措置に加えての特別なインセンティブの提供
- ✓ Samsung Display Noida 社は、UPEMP 2020年の下で 5億 8600万米ドルを投資し、インドに世界第3位のOLEDディスプレイ製造工場を設置しました
- ✓ エレクトロニクス製造政策2020年の下、3つのエレクトロニクス製造クラスター（EMC）と3つのセンターオブエクセレンス（CoE）の設立を目標に掲げています

主要なプレーヤー

SAMSUNG

vivo

Haier

SUNWODA
欣旺达

OPPO
SMARTPHONE

LAVA

LG

Dixon

エレクトロニクス政策—主なインセンティブ

- 資本補助金：FCIの15%相当額
- 5%の金利補助金
- 印紙税を100%免除
- マディヤンチャールとパシマンチャールでは25%、ブンドルカンドとパーバンチャでは50%の土地リバートを実施
- 3.0 + 1.0 (購入可能) 容積率 (FAR)
- 特許出願費用の100%償還
- 10年間、電気代が50%免除
- 能力開発などの支援

半導体事業に対する特別優遇措置

- インド政府が承認した補助金に対して50%の追加資本補助金
- 最初の200エーカーの土地に対して75%の補助金。工場用または付帯設備用の土地の追加購入に対して30%の補助金を提供
- 印紙税を100%免除
- 電力料金は工業用料金に準ずる
- 20年間電気代免除
- 加工工場が二つの電力システムを利用可能
- ETP設立のための一時補助金を提供
- 共通施設センター設置のための補助金（インド政府のEMC（エレクトロニクス製造スキーム）2.0）
- 加工工場に対するケース・バイ・ケースのさらなる支援

投資先としてのウッタール・プラデーシュ州 データセンター部門

- ✓ 2021年10月時点で、11.6億人の携帯加入者、8億人のインターネットユーザー、月平均14GBのデータ消費量を誇るインドは、デジタル変革の道を進んでいます
- ✓ ウッタールプラデーシュ州は、人口2億4千万人のインド最大の消費者層があり、さらに近隣の9州では4億2千5百万人の消費者基盤があります。
- ✓ データセンター（DC）政策2021を通じて、州は約60億ドルの投資を誘致し、約10,000人の雇用を創出する予定です
- ✓ データセンター政策2021年に基づき承認された各50MW以上の6つのハイパースケール・データセンターパークと1つのデータセンターユニットにより、合計の650MWのデータセンター容量を達成しました
- ✓ NOIDAがグローバルデータセンター拠点になりつつあります
- ✓ また、投資家はウッタールプラデーシュ州の他の地域でも、エッジデータセンターとDCユニットの設立を始めました

データセンター政策：主なハイライト

- ✓ ストレージインフラに対し240万米ドルを上限として7%の資本補助金
- ✓ Madhyanchal, Poorvanchal地方では25%、Bundelkhand, Paschimanchal地方では50%、最大900万ドルの土地補助金
- ✓ 6百万米ドルを上限として7年間60%の金利補助金
- ✓ 印紙税を100%免除
- ✓ 10年間100%の電気代免除
- ✓ 2系統の電源
- ✓ 送電・配電費補助金



adani sify

STTelemedia
Global Data Centres



投資先としてのウツタル・プラデーシュ州 ベンチャー企業部門

55

認定済みのインキュベーター

7000+

登録済みのベンチャー企業

129

インセンティブ支給が決定されているベンチャー企業

- 州はインド政府からこの分野で「リーダー」として認定されました（2021年）
- UP州はインドのスタートアップ・ハブのトップ4に入っています
- IIT Kanpur、IIT-BHU、IIM Lucknowなど、質の高い教育機関
- 強力なメンターのプールと、スタートアップ企業やインキュベーションセンターを支援する政策

成功事例：政策の実施

26万6,000米ドルをインキュベーターへインセンティブとして供与

ベンチャー企業に対し81万7,000米ドルをインセンティブとして付与

CoE（センター・オブ・エクスレンス）に対し78万5,000米ドルをインセンティブとして供与

スタートアップ・インドアというスキームの下で55万7千ドルの資金調達

SIDBI（インド中小企業開発銀行）を通じてベンチャー企業へ40万4,000米ドル相当の資金提供

インキュベーター

- 最大15万3,000米ドルを上限に50%の資本補助金を支給
- 年間36,000米ドルを上限に運営費助成金を5年間支給

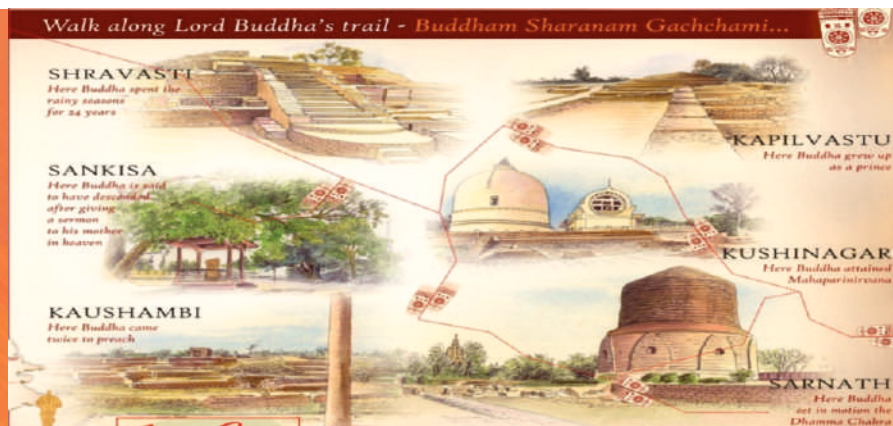
ベンチャー企業

- 維持管理費として月額214米ドルを支給（1インキュベーターあたり年間25社まで）
- プロトタイプ助成金 最大6,121米ドル
- マーケティング支援のためのシードキャピタルとして最大9,182米ドル（1インキュベーターあたり年間25社まで）
- 特許登録費
- イベント参加費償還

センター・オブ・エクスレンス成功事例

- AIIDE（人工知能とイノベーション駆動型起業家精神）CoE, IITカンプール校
- SGPGI（医科大学院大学）ラクナウ、メドテックCoE
- ドローンCoE, IITカンプール校

投資先としてのウッタール・プラデーシュ州 観光業



仏跡

カピラヴァストウ、サルナート、クシナガル、
カウシャンビー、シュラーヴァスティ、
サンキサ、アトランジー、カイラー、デブデー

投資の機会

- 格安ホテル
- ヘリテージホテル
- リゾート
- スポーツリゾート
- テント型宿泊施設
- アドベンチャー観光
- アミューズメント/ウォーター/テーマパーク
- コンベンションセンター
- リバークルーズ（川下り）
- ウェルネスツーリズム
- フィルムシテイ

観光政策、
映画政策による魅力的な優遇措置

宗教・スピリチュ
アルツーリズム



手織機と織物の観光



エコツーリズム



映画ツーリズム



投資先としてのウツタル・プラデーシュ州 手織機と織物

- インドで3番目に高い織物生産量を誇る州であり、国の生産量の13%以上を占めています
- インドのカーペット生産の90%はUP州が占めています
- インドでシルクと手織り製品の生産量で第5位を誇る州
- インドの主要な衣料品クラスターはGhaziabad-Noidaにあり、約3000の工場が存在します
- インドの皮革輸出の32%を占めています

主なインセンティブ (テキスタイル政策)

- 政府機関より土地を購入する場合、最大25%の土地補助金
- 工場・機械設備への投資に対して最大25%の資本補助金、ブンデルカンド地方への投資に対してはさらに10%の補助金を支給
- 年7%の金利補助を7年間を提供
- 印紙税が最大100%免除されます
- 10年間電気代100%免除
- 運賃補助最大75%を5年間提供
- 雇用創出助成金

主要なプレーヤー

Raymond

BIBA

fabindia
CELEBRATE INDIA

GINNI FILAMENTS LTD.

ARVIND
FASHIONING POSSIBILITIES

THREADS
(INDIA) LIMITED

機会のある分野

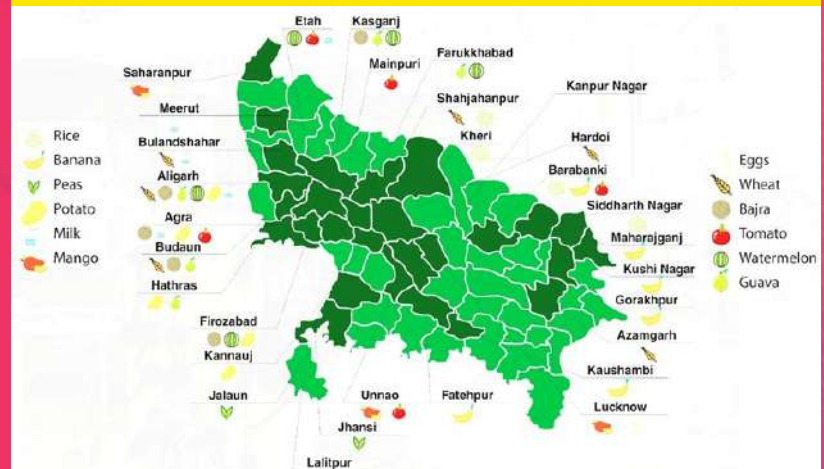
- 繊維・衣料品パーク - 統合タウンシップ (団地)
- アパレル・デザイン・センター
- 紡績・織機工場
- 営業、小売、調達、E-コマース
- 産学交流プログラム
- テクニカルテキスタイル製造

投資先としてのウッタール・プラデーシュ州 農業と関連分野

部門のハイライト

- サトウキビ、穀物、ジャガイモ、小麦の生産で全国一の生産量を誇る州
- UP州は、マンゴーとインドスグリの生産量が最も多い主要なフルーツベルトを擁しています
- インドで最も牛乳生産の多い州
- センター・オブ・エクセレンス、研究センター、共用施設などを含む強力な既存のエコシステム
- 魅力的な財政的優遇措置：食品加工政策、家禽政策、酪農・製品振興政策

生産拠点



投資の機会



主要なプレーヤー



投資先としてのウッタール・プラデーシュ州 エネルギー部門

- グラスゴーでのCop26サミットにおけるインドのコミットメントには、インドの再生可能エネルギー発電容量を500GWに増やすことが含まれています
- ウッタールプラデーシュ州は、太陽光発電2238万kWを含む2800万kWの再生可能エネルギー生産能力を保有しています
- 州の総発電容量は39,191MWで、そのうち30,003MWが現在稼働中、残りは今後3-4年の間に稼働する見込みです
- 廃棄物からエネルギーへの転換に大きな可能性があります。UP州はインド最大のサトウキビ生産地、第2位の米生産地であるため、副産物であるバガスとライスマスクはバイオ燃料製造のための豊富なバイオマスとなります
- 6つのソーラーパークが承認され、総発電容量は3600MW、グリッド接続された屋上太陽光発電所は259MWの容量を持っています

ブンデルカンド地方にグリーンエネルギー回廊が開発中

- 州政府は4000MWの発電容量を持つ太陽光発電プロジェクトを推進しています

政策支援

- ソーラーエネルギー政策2022年：印紙税、電気料金の免除、銀行手数料・託送料金の免除など
- バイオエネルギー政策2022年：圧縮バイオガスプラント、バイオ石炭生産プラント、バイオディーゼル生産プラントに対するインセンティブ

主要なプレーヤー



投資先としてのウツタル・プラデーシュ州 電気自動車部門

- 2021年のEV販売台数は、全セグメントでUP州が最も高いシェアとなっています
- FAME1と2スキーム（エコカー普及政策）で最大の受益者数
- UP州 EV製造とモビリティ政策2022年の下、EVとバッテリー製造のためのエコシステムを開発中です

EVエコシステムの3本の柱

充電インフラ

導入

製造

新しいEV政策の主要なハイライト



- 公共充電・交換ステーションを設置する事業者への資本金補助
- 充電ステーション-収益分配モデルによる土地の貸与 米ドル **0.012 kWh**
- **2輪、3輪、4輪、eバス、eグッズキャリア**の導入促進のための購入補助金
- **UP州**で購入・登録された電気自動車の登録・道路税免除
- 製造向けインセンティブ



- 電気自動車、バッテリー、部品、研究開発、試験施設を製造する統合EVプロジェクト向けに魅力的なパッケージ
- バッテリー製造への補助金の引き上げ
- 生産連動型インセンティブ
- 技能開発向け補助金
- センター・オブ・エクセレンス設立のための助成金、各最大120万米ドル

投資先としての ウツタル・プラデーシュ州

薬品とヘルスケア

- コミュニティヘルスセンター（CHC）、プライマリーヘルスセンター（PHC）、サブセンター（SC）からなる3層の公的医療インフラ
- UP州の医薬品売上高は全国の17%以上を占めています。複数の製薬会社が操業中で、その大半が製剤部門（主にガジアバード、ガウタム・ブッダ・ナガル、ラクナウ、カーンプルに所在）
- 主要な研究開発センターとプレーヤー（CSIR、NBRI、IITR、CIMAPなど）からなる活気あるエコシステム
- ヤムナ高速道路沿いのグレーター・ノイダに医療機器パーク（100エーカー）建設予定

政策支援

PPP方式による病院の促進（自由診療）
医薬品産業に対するインセンティブ

教育とスキル開発

インド最大の若者人口、労働年齢人口の56%

72の大学、6000以上のカレッジ、
4000以上のITI（専門学校）と職業訓練学校

IIMラクナウ、IITカンプール、IIT ベナレス、
IIITプレーヤーグラージ、AKTUラクナウ、
MNNITプレーヤーグラージなどの名門教育機関

機会



スキル開発機関

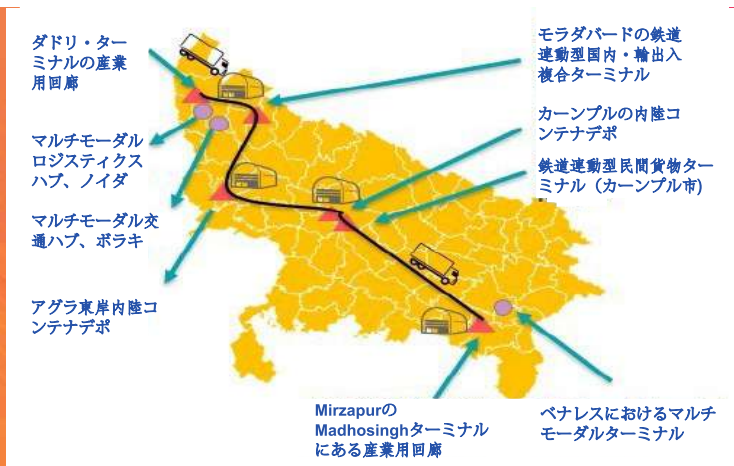


交流プログラム



学術提携

投資先としてのウツタル・プラデーシュ州 インフラプロジェクト



主な投資対象地域

- **ダドリ・ノイダ・ガージアバード:** IITGNL グレーターノイダ)、トランスシグネチャーシティ (ガージアバード)
- **アリガー・エタワール・カンプール・ウンナオ:** クルジャー-バウプールEDFCベルト、ラクナウ-アグラ高速道路とウンナオの物流ベルト沿い。
- **Meerut-Muzaffarnagar:** Delhi-Meerut 高速道路および同地域の産業拠点沿い
- **ヤムナ高速道路:** 物流拠点とヘリテージ・シティ
- **Prayagraj-Varanasi-Mirzapur:** NW1, Purvanchal 高速道路、東部輸出クラスター沿い

主要産業インフラプロジェクト

- 5,000ヘクタールの広さのAgra-Aligarh-Lucknow-Kanpur-Jhansi-Chitrakut沿いの防衛産業回廊
- Agra (1060エーカー) とPrayagraj (1139エーカー) の統合製造クラスター
- GB Nagarにある350エーカーの医療機器パーク
- グレーター・ノイダの総合施設(IIT GNL)
- トイパーク (52エーカー)、アパレルパーク (118エーカー)、手芸品パーク (40エーカー)、ロジスティクスハブ (Tappal-Bajna)
- Unnao市のメガ・レザー・パーク: 42エーカーの敷地に広がる国内初のレザーパーク
- Bareillyのメガフードパーク (246エーカー)、Varanasiのアグロパーク (259エーカー)、Unnaoのトランスガンガーシティ (1149エーカー)
- Lucknow, Kanpur, Agra, Ghaziabad, Gorakhpur と Aligarhにおける統合工場

投資家を接続するフレームワーク



オンライン・インセンティブ
・マネジメント・システム (OIMS)



Nivesh Sarthi
(投資家関係管理システム)

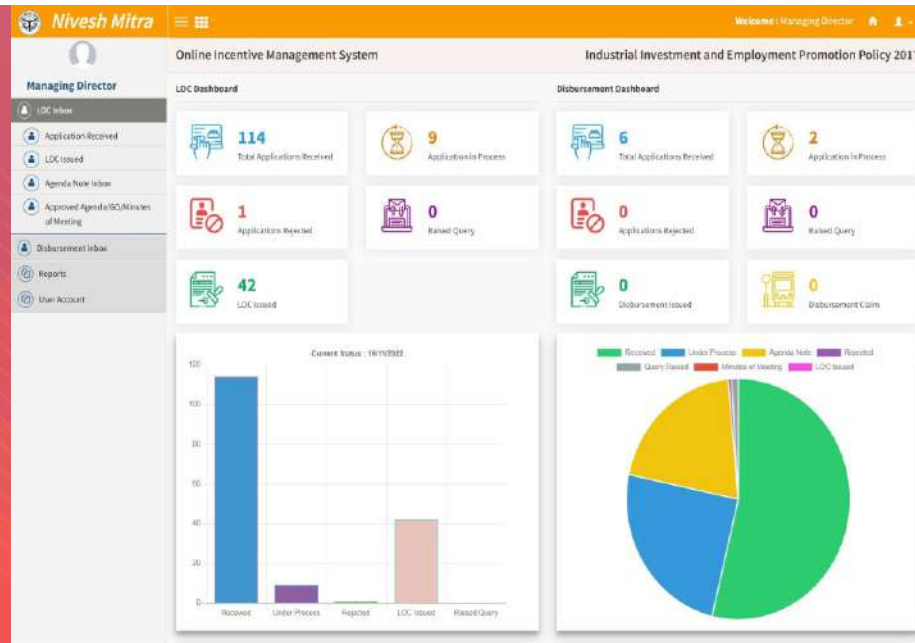


Nivesh Mitra
(シングルウインドウ・クリアランス・システム)



グローバル投資家サミット2023年

オンラインインセンティブ管理システム

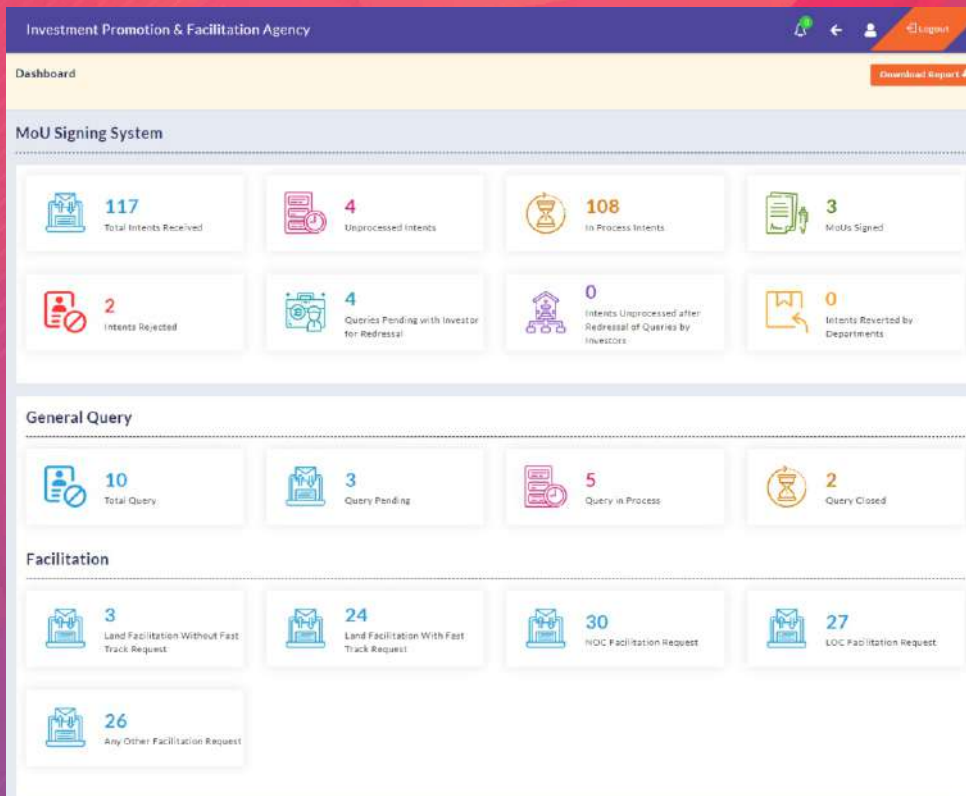


主な特徴

- オンライン申請、追跡、部門からの問合せへの対応
- Letter of Comfort (LoC。推薦状)がポータルサイトから発行されます
- 各基幹的な組織、行政部門、関係省庁、UP州政府上級職員のための個別ログイン
- 各基幹的な組織、行政部門、州首相オフィス、州政府上級職員向けそれぞれのモニタリングダッシュボードの設置
- 基幹的な組織・部門による委員会の議題/評価メモのアップロードと転送
- 基幹的な部門による政令と承認された委員会の議事録のアップロード

投資家関係管理システム： Nivesh Sarthi

主な特徴



- オンライン意思表示とMoU締結のプロセス
- デジタル署名されたMoUは、投資家ログイン後、すぐに印刷可能なフォーマットで提供されます
- 投資家への情報把握とタイムリーな情報発信のための問合せ報告・応答システム
- 基幹的行政部門、地方行政官、州首相オフィス、州政府上級職員向けのモニタリングダッシュボードの設置
- 業務内容全体を一度に表示する投資家向けダッシュボード
- 投資家と部門間のコミュニケーションの一環として、書類のアップロードとダウンロードのオプションがあります

Nivesh Mitra: デジタル・シングル ・ウィンドウ・クリアランス・システム

シングル・ウィンドウ・クリアランス・システムの主な特徴



承認と申請手
続きについて
知る



一元的な情
報提供



共通申込書



シングルサイ
ンオン技術



オンライン申
請・書類提出・
手数料一括払い
オプション



自動化された
SMS (ショート
メッセージ) 電
子メール通知



証明書/NOC
(異議なし証明
書)/ライセンス
の第三者検証



オンライン状況
追跡、証明書
/NOC(異議なし
証明書)のデジ
タル署名



データ分析/
ダッシュボード/
MIS



苦情処理



ユーザーフィード
バックの仕組み

受賞歴・実績



ゴールドカテゴリー受賞



優秀賞カテゴリー受賞

今後のUP 州グローバル投資家サミット2023年の開催について

開催予定者



ナレンドラ・モデー氏
総理大臣

閉会の司会は



ドロパディー・ムルム女史
大統領

他の出席者



ヨギ・アディツアナス
ウツタル・プラデーシュ州首相

開催日

2023年2月10日-12日

会場

Vrindavan Yojna, Lucknow

参加者プロフィール

1万人以上の代表者

目標のリードジェネレーション（見込み客の創出）

1億2000万米ドル

その他の詳細

展示会；テントシティ；セクターとパートナーカントリーセッション

フラッシュバック； UP投資家サミット2018年 主なハイライト



ウッタール・プラデーシュ州で初の投資家サミットを2018年2月21～22日にラクナウで開催

1045件、513億6000万ドル相当の投資案件を受注



起工式 1

(2018年7月29日)
74.2 億米ドル相当の
81件のプロジェクト
が実施され、20万人
分の雇用が発生



起工式 2

(2019年7月28日)
78億米ドル相当の
290件のプロジェクト
が実施され、26万人
分の雇用が発生



起工式 3

(2022年6月3日)
96 億米ドル相当の
1406件のプロジェクト
が実施され、50万
人分の雇用が発生





住所

4th Floor Block A PICUP Bhawan,
Lucknow, Uttar Pradesh 226010

電話: +91-522-2720236, 2720238

電子メール: info[at]investup[dot]org[dot]in

Webサイト - <https://invest.up.gov.in/>



U.P.州情報広報部